



2020年2月7日

各 位

会社名 株式会社宮入バルブ製作所
 代表者 代表取締役社長 西田 憲司
 (コード番号 6495)
 問合せ先 取締役経営管理部長 市川 浩
 (TEL 03-3535-5575)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,020	150	140	100	2.09
今回修正予想 (B)	4,700	50	36	76	1.59
増減額 (B-A)	△320	△100	△104	△24	
増減率 (%)	△6.4	△66.7	△74.3	△24.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	4,860	△45	△56	△86	△1.80

修正の理由

売上高につきましては、LPガス容器用弁が通常年であれば冬季に需要期を迎えますが、今季は暖冬の影響で需要が低迷しております。また、バルク付属機器については、貯槽生産が前年よりも増加しているものの最近の中国生産の動向も不透明であり、想定よりも伸び悩んでいる状況です。以上により、通期として当初予想を下回る見込みです。

営業利益および経常利益につきましては、前期に完成したLPガス容器用弁の新製造ラインの償却費負担増や運賃その他の諸掛かりの増加に対処するため、工場消耗品費、消耗工具費等の圧縮や部品内製化による外注費削減等の経費削減、および各種製品の値上げに努めましたが、その効果が未だ限定的であり、収益性の改善が想定より遅延しております。さらに、売上高について当初予想を下回っているため、それに合わせて在庫調整を行うべく工場稼働水準を低下させており、そのために収益性が悪化しております。以上より、各利益ともに当初予想を下回る見込みです。なお、配当予想につきましては変更ありません。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以 上